

リリースノート: Dominion® KX III ユーザーステーション (バージョン 1.2)

日付: 2017 年 4 月

該当モデル: サポート対象の Dominion KX III モデル

DKX3-108、DKX3-116、DKX3-132、DKX3-216、DKX3-232

DKX3-416、DKX3-432、DKX3-464、DKX3-808、DKX3-832、DKX-864、

DKX2-101-V2

Dominion KX III マルチポートモデルでは、リリース 3.2 以降が必要です。

Dominion KX III ユーザーステーションの概要

Dominion KX III ユーザーステーションは独立したアプライアンスで、KX III KVM-over-IP スイッチに接続されているリモートサーバーやワークステーションへの IP アクセスでも高いパフォーマンスが実現されます。ラボ、スタジオ、制御室、オフィス、データセンターに最適なこのユーザーステーションは、標準の Cat5/6 ケーブルと Ethernet/IP テクノロジーにより、容易に設置することができます。ユーザーステーションには、柔軟性と生産性に優れたパワフルなデスクトップユーザーインターフェースが用意されています。シングルまたはデュアルモニターで複数の KVM-over-IP セッションをサポートし、8 台以上のサーバーへの同時アクセス、参照、制御が可能です。

ファームウェアの概要 (バージョン 1.2)

メジャーリリースとなるバージョン 1.2 には、KX III デュアルビデオポートのサポート、ウィンドウ管理機能の強化、拡張性の向上、ユーザーインターフェースの強化、メンテナンス機能といった、多くの新機能が追加されています。生産性がさらに向上し、お客様からの要望も取り入れられています。

注: リリース 1.2 にアップグレードするには、ユーザーステーションでリリース 1.1 がインストールされている必要があります。

Dominion KX III ユーザーステーション リリース 1.2 の特徴

- ・**デュアルビデオポート**: KX III のデュアルビデオポートグループをサポートします。2 つのウィンドウで 2 つのビデオを表示し、KVM セッションを立ち上げます。
- ・**ウィンドウ管理機能の強化**: 高度なウィンドウ管理機能により、タイル表示、最小化、復元、元に戻す、閉じるといったウィンドウ処理を自動化できます。現在のウィンドウレイアウトを保存し、次回ログイン時に復元することも可能です。
- ・**拡張性**: より多くの KX デバイスをサポートします。
- ・**ユーザーインターフェースの強化**: 新しいアイドルタイムアウトオプション、ポートホットキーオプション、ウィンドウ機能オプションによるポートの起動、仮想メディアセッションのポートのハイライト表示といった機能が追加されています。
- ・**イベントログ**: ユーザーやシステムイベントのログとアーカイブが可能です。
- ・**新しいメンテナンスメニュー**: イベントログ、バックアップ/リストア、工場出荷時状態への復元、ソフトウェアアップデートといったメンテナンス機能が統合されています。
- ・**ラリタン/ルグランブランド**
- ・**その他修正、セキュリティアップデート、拡張性、ユーザーインターフェース、強化機能、ドキュメントアップデート**
- ・**ドキュメントとオンラインヘルプのアップデート**

Dominion KX III ユーザーステーションドキュメント

Dominion KX III ユーザーステーションに関する以下のユーザー向けドキュメントをご用意しております

Dominion KX III ユーザーステーションガイド – ユーザーステーションのユーザーおよび管理者機能に関するガイドです。

Dominion KX III ユーザーステーション クイックセットアップガイド – KX III ユーザーステーションの初期設定でご利用いただけます。ユーザーステーションドキュメントは、ラリタンの Web サイト (www.raritan.com/jp/) から入手いただけます。「サポート」ページの[製品を選択してください]ボックスで[Dominion KX III ユーザーステーション]を選択すると、ユーザーステーションドキュメントがリリースごとに表示されます。該当するリリースをクリックしてください。

Dominion KX III オンラインヘルプ

オンラインヘルプシステムをご利用いただけます。ユーザーステーションデスクトップで、[Main Menu(メインメニュー)] > [Help(ヘルプ)] > [User Manual(ユーザーマニュアル)]をクリックすると、オンラインヘルプシステムが起動します。[Contents(目次)]、[Index(索引)]、[Search(検索)]から、適切なトピックを参照することができます。テキストや画像を含め、Dominion KX III ユーザーステーションガイド全体を参照いただけます。また、同ガイドには多くのリンクも記載されています。

Dominion KX III については、ラリタン Web サイトの「サポート」セクションから、Dominion KX III ユーザーステーションのオンラインヘルプをご利用いただくこともできます。

互換性情報

1. リリース 1.2 にアップグレードするには、ユーザーステーションでリリース 1.1 を実行している必要があります。
2. このリリースは、KX III リリース 3.2 以降と併せてロードされている場合、Dominion KX III スイッチとの連動が保証されています。
3. ユーザーステーションは、Dominion KX、KX II、LX、KSX II、そのほかのラリタン IP スイッチとは連動しません。
4. ユーザーステーションは、ラリタンの CommandCenter Secure Gateway とはまだ統合されていませんが、KX III スイッチに接続されており、ユーザーステーションもアクセスする機器に対しては、CommandCenter を利用してアクセスすることができます。

留意事項および重要な情報

KX III ユーザーステーションに関する以下の重要な情報をご確認ください。

1. **デフォルトの Admin(管理)パスワード**: セキュリティ上の理由から、デフォルトのパスワードを変更することをお勧めします。
2. **2種類のユーザー認証情報**: ユーザーステーションでは、(a)ユーザーステーションへのログイン用認証情報、および(b)アクセスする KX III スイッチ用認証情報の、2種類のユーザー認証情報(ログイン/パスワード)が使用されます。

ユーザーステーションにアクセスするにはユーザーステーションの認証情報が必要であり、また認証情報によって、ユーザーステーションの管理タスクへの許可の付与が決定されます。認証情報は、KX III ユーザーステーションの管理者が作成します。

KX III スイッチに入力されたユーザー認証情報により、KX III に接続されているサーバーのうちどれにアクセス可能か判断され、仮想メディアやリモート電源制御といった関連許可が付与されます。

3. **ユーザーごとのユーザー認証情報**: KX III ユーザー認証情報は、各ユーザーごとに保存されます。セキュリティの維持のため、ユーザーは使用する各 KX III スイッチに関して、各自の KX III ユーザー認証情報を入力および保存する必要があります。
4. **FIPS 140-2 モード**: FIPS 140-2 暗号化モジュールを有効にしている場合は、以下に留意してください。

- a. KX III スイッチのサーバーに接続するには、信頼性のあるデバイス、または各 KX III KVM スイッチのルート証明書をユーザーステーションにインストールする必要があります。
- b. 暗号化された LDAP 接続を使用する LDAPS 接続は、このリリースでは FIPS 140-2 暗号化モジュールを使用しません。
- c. TLS v1.2 が適用され、ユーザーステーションで FIPS 140-2 が有効になっている場合、KX III のターゲットに接続できません。
5. **ユーザーブロック機能**: KX III スイッチに誤ったユーザー認証情報を入力すると、「User Blocking (ユーザーブロック)」機能が有効になり、そのスイッチによりアクセスが自動的にブロックされます。これは、ユーザーステーションが複数回の接続を試みるためです。この場合は、KX III スイッチの管理者にご連絡ください。
6. **プラグを抜かないでください!**: ユーザーステーションの電源ボタンを押してユーザーステーションをオフにしたり、電源コードのプラグを抜いたりしないでください。ユーザーステーションのデータベースが破損する可能性があります。
7. **ビデオに関する注意事項**: ユーザーステーションには 3 つのビデオポートがありますが、ユーザーステーションに接続できるモニターは 2 つまでです。DisplayPort および HDMI では、映像信号と音声信号の両方が送信されます。音声を使用する場合は、お使いのモニターが音声の送信をサポートしている必要があります。KX III で設定したデュアルビデオポートは、現在サポートされています。
8. **音声に関する注意事項**: [Auto Connect Audio (音声自動接続)] チェックボックスがオンにされていない場合、KVM ポートへのアクセス後に音声接続を手動で行うことができます。
9. **ネットワークに関する注意事項**: ユーザーステーションのデフォルトのネットワーク設定は、[Automatic (DHCP) (自動 (DHCP))] です。静的アドレスが必要な場合は、KX III KVM スイッチを追加する前に、ネットワーク設定を手動で行う必要があります。KX III スイッチの HTTPS および Discovery のデフォルトの TCP/IP ポートを変更しないでください。
10. **デュアル LAN ポート**: ユーザーステーションの 2 つの LAN ポートは、同じサブネットにも異なるサブネットにも接続することができます。ユーザーステーションの電源を入れたとき、または再起動時に両方の LAN ポートがネットワークにすでに接続されている場合、ユーザーステーションは、いずれかのネットワーク接続をデフォルトとして選択します。ただし、いずれか、または両方の接続のネットワーク設定を変更している場合、「最後」に変更された方が自動的にデフォルト接続となります。注: デフォルト接続は、[Connection Information (接続情報)] ダイアログで確認できます。
11. **Ctrl+Alt+Del**: ユーザーステーションに接続されているキーボードで物理的に Ctrl+Alt+Del キーを押すと、キーシーケンスはターゲットサーバーには送信されず、コマンドは最初にユーザーステーションで受信されます。コマンドをターゲットサーバーへ送るには、KVM Client ウィンドウの [Ctrl+Alt+Del] マクロボタンを使用するか、[Desktop Settings (デスクトップの設定)] でシャットダウンのホットキーを修正してください。
12. **仮想メディア**: ターゲットサーバーから切断する仮想メディアドライブは、最初に「安全な取り外し」または「イジェクト」をすることをお勧めします。[Read/Write (読み取り/書き込み可能)] モードを有効にしている場合は、この動作を行わないとデータの損失につながる可能性があります。
13. **ソフトウェアのダウングレード**: ソフトウェアのアップデート機能は、ソフトウェアのアップグレードのみを許可するもので、ダウングレードは許可されません。ソフトウェアのダウングレードが必要な場合は、ラリタンのテクニカルサポートまでお問い合わせください。ソフトウェアのアップデートを行う前に、すべてのデータのバックアップをとることを強くお勧めします。ソフトウェアのアップグレード中は、ユーザーステーションの電源を切らないでください。
14. **カスケード接続とブレードサーバー**: 現在、ユーザーステーションは、KX III スイッチでのブレードサーバーまたはカスケード接続ポートをサポートしていません。
15. **シリアルポート**: ユーザーステーションのこれらのハードウェアポートは、現在使用されていません。
16. **オンラインヘルプ**: [email this page (このページを電子メールで送る)], [send feedback (フィードバックの送信)], [print this page (このページを印刷する)] の 3 つのボタンは、ラリタン Web サイト用であり、ユーザーステーション用ではありません。

ファームウェアのアップグレード

注:リリース 1.2 にアップグレードするには、ユーザーステーションでリリース 1.1 を実行している必要があります。

ラリタンでは、ソフトウェアの強化、新機能、改良などを含む、ファームウェアのアップグレードリリースを用意しています。

アップグレードは、ラリタンの Web サイト (www.raritan.com/jp/) で入手いただけます。「サポート」ページの[製品を選択してください]ボタンで [Dominion KX III ユーザーステーション]をクリックしてください。

新しいファームウェアリリースに最新の KX III ユーザーステーションがあるかどうか確認し、ダウンロードします。

ファームウェアのアップグレードに関する指示事項は、KX III ユーザーステーションのユーザーガイドを参照してください。

アップデートを実行する前に、新しいファームウェアリリースのリリースノートをお読みください。

ご不明な点がある場合は、ラリタンのテクニカルサポートまでお問い合わせください。